										*基礎看	護学実習 [
授業科目			*基础	姓看護学実習 [実務家教員	担当科目	-			
単位	1	履修	必修	開講年次 1				開講	時期	後	:期		
担当教員	金山	正子、梶	原 江美、	隅田 由加島	E、長崎	恵美	子、中島	紀江、西	師 彩子				
	病院	- における	看護の実際	および入院生	E活を送	る対象を	者とのコ	ミュニケー	-ションの	実践を通し	て、病を		
	もち入院生活を送る対象者のニーズについて理解する。また、対象者の生活上のニーズを満たすために												
授業概要	必要な看護援助について考え、指導者とともに根拠に基づいて見学・実践する。これらの過程を通し												
12未恢安	て、看	護者に求	められる態	態・姿勢にて	ついて考	え、基礎	楚的能力	を養う。					
	各教員	は実務家	教員として	、臨地実習技	旨導者と	連絡・詞	調整し、	学生が目標	標を達成で	きるように	支援す		
	る。												
授業形態	実習				授	授業・臨地実習							
1276/17/65	<u>Д</u>				方法・Classr				room を活用して連絡				
	学生が達成すべき行動目標												
	詳細は 2024 年度看護学実習要綱の実習目標を参照。												
標準的	1. 入院している対象者とのコミュニケーションを通して、療養生活について考察できる。												
レベル	2. 対象者に必要な看護援助について、根拠をもとに見学・実践できる。												
	3. 看護者に求められる態度・姿勢について考え、行動することができる。												
理想的	標準的レベルの目標 1~3 を達成する。												
レベル さらに、実習の学びと課題について整理し、今後の看護の学習に繋ぐことができる。													
				評価	割合(数	效値)		備考					
試験 													
小テスト					250/			由35-741 (本 					
レポート 				25%				実習記録は事前に説明する					
					25%								
レポート外の提出物				F00/				宇羽並体主を甘いが体ナフ					
その他				50% Jキュラムマップ(該当 DP)・ナン/				実習評価表を基に評価する					
			71.	74174		∃ νr)	-))	(1) //		ナンバリン			
DP1	0	DP2	0	DP3	- D)P4	0	DP5	0	グ	NU11211J		
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安 (時間)			
予習・復習:実習に必要な知識・看護技術について、既習の知識を活用するとともに、新しい 0													
知識・看護技術を調べて学習する。													
	基礎看護学実習 I (1単位)の詳細は「2024年度 看護学実習要綱」を参照。												

1. 実習単位・時間数:1単位 45時間

2. 実習期間:2025年2月10日(月)~2月21日(金)のうちの5日間(※土・日・祝日を除

第1回

<)

- 3. 実習時間:8時30分~15時30分、(※学内実習時間は9時00分~16時00分)
- 4. 実習概要:事前にオリエンテーションを実施し、実習病院・病棟別にグループに分かれて実習 を行う。

	个 基 使 自 设 于 天 白 I
	日常生活援助を必要とする患者を受け持ち、患者とのコミュニケーションや患者の療養生活上のニーズ、援助計画を考え、
	の二 人、版場計画と考え、 看護を見学・実践する。また、看護者に求められる姿勢や態度について考える。
テキスト	· 2024 年度看護学実習要綱:基礎看護学実習 I
参考図	事前の学内学習および病院実習中に、必要に応じて、適宜、参考図書を紹介、助言する。
書・教材	
/データ	
ベース・	
雑誌等の	
紹介	
課題に対	実習時間中およびカンファレンス、実習終了日の面接等により、フィードバックを行う。
するフィ	
ードバッ	
クの方法	
学生への	この1年間で学習した知識や看護技術を活用するとともに、患者理解や看護に必要なことを積極的
メッセー	に調べ、学習し、学びを深めるように努めましょう。
ジ・コメ	感染予防対策を行い、自己の健康管理を行うようにして、実習グループのメンバーで協力して学び
ント	ましょう。